

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | ○ | | 宿題や制作をしたりおやつを食べる落ち着く部屋と、活発に遊ぶ部屋に分けて使っている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | | | ○ | パートさんや他事業所の職員に来ていただいている。新年度整う予定 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 1階玄関にはスロープがある |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | | ○ | | 業務の計画実行評価改善を会議で積極的に取り上げていく |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | アンケートや面談を通してご意見な伺い改善に努めている |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 公開している |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | | 外部の評価を常に取り入れている |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | | ○ | | 必要な研修には参加している 時間を作りさらに勉強したい |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 積極的に分析結果を活用し進めたい |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | さらに参考にしていきたい |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | | ○ | | 担当を決め計画する。それをチームに伝え最終的に全員で立案していく |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 企画に子どもが興味を持つような新しいものを入れている |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 個々の課題に合った支援方法をさぐり、職員共通の理解で関わるようにしている |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 常に子どもたちの様子を観察し、計画の作っている |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | | ○ | | 職員体制を整えていき、しっかりと分担を支援を充実させたい |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | | しっかりと時間を確保することに努める 朝の時間を有効に使う |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 確実に記入している |

| | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | 定期的に今後も検討を進める |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | | ○ | さらに組み合わせるよう考えていく |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | | ○ | 上手く時間調整をし、積極的に参加していく |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | 学校との共有は、今後も積極的に行っていく |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | 現在は在籍がない。今後必要があれば連絡体制をしっかりと整えていく。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | 支援センターとの連携をはかっている |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | 現在まで対象児童がいない |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | 常に連携を取り助言を頂く等し、支援にいかしている |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | 現在はしていない。地域の子どもたちとの関わりを増やし交流できるよう、まずは地域に出ていく企画を増やす。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | 地域との関わりの機会に参加していく |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | 保護者会や面談で話をしており、子どもの様子を共通理解し、同じ支援をしていけるように、取り組んでいる |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | ○ | 面談で支援の方法などお伝えしている。さらには、来年度ペアレントトレーニングや座談会を企画する予定 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 保護者会等で重要事項説明書にてお伝えしている |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | 悩みや相談をお聞きする機会を面談で作ったり、送迎時や電話でうかがい、丁寧に助言するよう心掛けている |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | 保護者会で話す機会はあるがさらに来年度は講師のお招きして座談会も開く予定。 |

| | | | | | | |
|----|---------|---|--|---|--|--------------------------------------|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 苦情担当を決めており、さらには内容を職員で共有し、対策している。場合によっては管理者会議等でさらに丁寧に考えている。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 毎月、案内やニュースでお伝えしている | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | 嚴重に配慮している。 | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 個々に合わせた対応を常に心がけ、配慮している | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | フェスタなどの催しを法人で開催し、地域の方と関われる機会を作っている | |
| | 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | 保護者説明会で伝えているほか、職員間も読み合わせをする等し周知している。 |
| | | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 定期的に訓練し、災害等にそなえている |
| 40 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 虐待防止の研修会に参加している | |
| 41 | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | 面談や日々の送迎時にお伝えしているが、さらに保護者会などでも、お話しし、了解を得る機会を作る。 | |
| 42 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | 二重チェックをする等、嚴重に注意を払って対応している。 | |
| 43 | | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | 事例をしっかりと職員間で共有し、対策を考え、記録を残している。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|----------|----|---|----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | 宿題や制作をしったりおやつを食べる落ち着く部屋と、活発に遊ぶ部屋に分けている |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | | ○ | 法人内で人員調整をしてフォローしている。新年度整う予定 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | ○ | | 玄関前スロープ有。活動室は子供が荷物を整理しやすいように改良した |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | 除菌もする等、気を付けている |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | 会議で積極的に取り上げるようにしている |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | ご意見をうかがい、業務改善に努める |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | 事業所として自己評価をしたうえで、改善内容を公開している。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | 外部の評価を常に取り入れ、偏りのない考えで業務を行う |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | 必要な研修に参加している。さらに勉強していきたい |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | 丁寧に分析し、活用していく |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | さらに参考にしていきたい |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | ガイドラインに基づき、具体的支援を設定する |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | 計画に従った支援を常に心がける |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | 職員のそれぞれの意見を聞き、支援を考え共有しながら取り組む |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | 常に新しい企画を織り込みたのしめるものをさらにつくりたい |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | それぞれの活動を適宜組み合わせ一人一人の子に合った計画を丁寧に立てる |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | 職員体制を整え、さらに分担をはっきりとさせていく |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | しっかりと時間を確保し丁寧に共有する。朝の時間の使い方を工夫する |

| | | | | |
|--------------|----|---|---|--------------------------------------|
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | 確実に記入し支援にいかしていく。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | 定期的に検討し、見直しの必要性をその都度考える |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | かかわりの深い職員、対応を理解している職員の参加。全職員への周知も必要 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | 関係機関と連携のとりやすい関係づくりに努める |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | 必要時には、しっかりと連携を取り、適切な対応をしていく |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | ○ | 必要時には、すぐに連携がとれるよう、体制を整える |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | 他機関との連携をとり、情報共有に努める。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | 学校との連携は不可欠。情報を共有できるように関係を作っておく |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | 助言を受けたり、研修に行き、学んでいる |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | ○ | 機会を作っていき、理解していただくきっかけづくりをする |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | ○ | 子ども部会に出席するなど積極的に参加している |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | 日頃から話せる雰囲気づくりに努めている |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | ○ | 面談だけでなく来年度は講師の方に来ていただき、会を開いていく計画である |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | 重要事項説明書などでご説明する |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | ガイドラインに基づき、支援計画を作成し、保護者の同意のもと支援する |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | 面談を定期的に持つ。保護者会で悩みをうかがう |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | 保護者会は開き、さらなる連携のため、座談会等で親しくなるきっかけを用意す |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | 迅速な対応が出来るよう体制整備をさらにはかる |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | 毎月利用者に案内・ニュースなどを送る |

| | | | | |
|---------|----|---|---|-----------------------------------|
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | 細かく配慮している |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | 絵カードを使ったり、ボードに記入するなどして、わかりやすくしている |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | フェスタなどを開いて地域の方々と関わる機会を多く作っている |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | 対応真にあるに基づき、定期的に訓練をしており、災害に備えている |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | 避難訓練の実施は、定期的に行っている |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | 持病は把握している。対応は保護者と相談していく |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | 厳重に気をつけている |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | 小さなヒヤリハットも、記入し職員間で共有している |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | 研修機会を今後はさらに増やしたい |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | 面談や日々の送迎時、また保護者会等の機会を使って了解を得ている |